

# イベント Report ~1月上旬までの催し紹介~

## 公民館講座『しめ縄作り教室』を開催しました

12月19日(土)、ふるさと館において、しめ縄作り教室が行われ、14名の方々が参加しました。今年は関根高義さん(御堂)に講師を務めていただき、しめ縄の形やわらで作る意味、作り方などを学びながら、参加者それぞれがしめ縄を作りました。

しめ縄には、玄関先や鳥居に飾ることで、不浄なものが入るのを塞ぎ、清らかな場所を作るという意味があります。

参加者は、関根さんをはじめ毎年しめ縄作りをしている方の作業を間近で見ながらお飾りを作り上げ、新しい年を迎える準備ができたようです。



## 柴地区(坂本)で楮かしき(皮むき作業)



1月4日(月)、柴地区(坂本)において、和紙の原料となる楮の「楮かしき(皮むき作業)」が行われました。

クワ科の植物の楮は、村内では「かず」と呼ばれ、和紙の里の依頼を受けた柴観光果樹農園組合(田中寿組合長)有志が栽培、納入しています。18年前に始まり、今では柴地区の年末年始の風物詩となっています。

この日は早朝から作業が始められ、同じ長さに切りそろえた楮の木を束ね、根元を下にして大釜で蒸したあと、表皮をむき取る作業を行いました。

表皮は保存するため2週間ほど日光に当て乾燥させたのち、和紙の里へ納品されます。

## 公民館講座「小正月のケズリバナ体験学習会」を開催

1月9日(土)、ふるさと館において、小正月行事のひとつである「ケズリバナ体験学習会」を開催しました。8名の方々が参加し、講師の倉林均さん(皆谷)からケズリバナの由来をお話いただき、ハナカキ鎌を使いながら作り方を教えてもらいました。

ハナカキ鎌を使い慣れていない参加者が多く、力の入れ具合に気を付けながら作っていました。

ニワトコを使って花を模した形に削って豊作を願うこの伝統行事は、今では見かけることも少なくなりましたが、これからも後世に伝えていきたいものです。



## 東秩父消防団安全祈願祭

今年度は、新型コロナウイルス感染症により新春恒例の消防出初式が中止となりましたが、1月9日(土)午前9時に安全祈願祭を坂本八幡大神社にて行いました。

当日は、感染症対策を実施の上、消防団・交通指導隊の役員等、東西駐在所員のみが出席し、今年一年大きな災害が起こらないよう消防団活動等の安全を祈願しました。

